2025 年度

SGT　活動レポート

中 2 ステンドグラス講座
C 班　第 2 回

10 月 29 日（水）に第2回ステンドグラス講座を、実施しました。中学生 2 年生を対象に、全体4回で行われるこの講座ですが、先週に引き続いて、今回は2回目で、中学 2 年 2 組、23 組の生徒 25 名が参加しました。

ステンドグラス工房かわもと様の3名の先生方にご指導をいただき、今年度はキャンドルボックスの作製に挑戦しています。ボックスの前面を彩る「オーナメント」のパーツとなるガラスを削って形を整え、断面を滑らかにする作業が今回のメインになります。前回は、はじめに富士山、葉っぱ、猫、シェル、花、クリスタルのデザインの中からオーナメントのデザインを選択して、用意していただいた色とりどりのガラスの中から、オーナメントにはめ込むガラスを選び、オーナメントの型紙に合わせて、大まかなカットをするところまで、作業を進めました。そして今回は、「ルーター」という専用の機械を使って、ガラスのパーツをきれいに削っていく作業になります。

今回使う「ルーター」は、モーターで回転するヤスリにガラスを当てることでガラスを削るのですが、内部に水が入っていて、ヤスリ部分を濡らすことで、熱も抑えられ、破片が飛び散ることも防げる構造になっています。ガラスは削れるのに、指をあてても削れないという説明を受けて、少し安心しました。初めて使うルーターに、最初は戸惑っている生徒もいましたが、先生方の親切な指導で、程なく使い方にも慣れて、ガラスが型紙どおりに削れるように、何度もルーターと型紙を行き来して、思い通りの形に削ることができるようになりました。思っていたより上手くできたと感じる半面、曲線を削るのが難しく感じるようでした。きれいに削れたガラスを嬉しそうに見せにきてくれる生徒がいました。

後半は、次回のガラス同士をつなげる工程の前段階の作業をしました。今回の作品はキャンドルボックスですが、5枚の正方形のガラスを組み合わせた立方体の前面を、オーナメントが飾る形になります。オーナメントと同様に、正方形のガラスの側面もきれいに削って、ガラスのパーツが完成しました。

そのガラスのパーツをはんだで接合して形を作るのですが、ガラスに直接はんだをのせてもくっつきにくいのだそうです。そのため、ガラスの周りに「コパテープ」という銅でできた細い接着テープを巻き、その上にはんだをのせることで、ガラスを接合することができるということでした。このテープをていねいにラスキン（コテ）を使って「圧着」する作業が、その後の出来映えや耐久性に影響するようです。巻き始める箇所を接合部分の内側にすることで、接合がはずれにくくなることなどを教えていただき、生徒たちは集中して作業に取り組みました。手際のよい生徒にたずねると、「とても面白いです。もう 3 回目ですから！」と自慢げに応えていました。

最初はガラスのかけらだったものが、今回の作業でだんだんと思い通りの形に近づいてきて、型紙に並べてステンドグラスが完成したときのイメージを膨らませることができるようになってきました。次回、いよいよガラスを接合していく作業に入ります。どんな作品になるのか、完成が楽しみです。次回は 11 月 4 日（火）です。

はじめに今日の作業について説明していただきました。よく聞いて、作業方法を覚えます。

ルーターです。回転するヤスリでガラスを少しずつ削っていきます。

型紙に合わせて油性マジックで削る箇所に念入りに線を引いていきます。

ルーターで集中してガラスを削ります。

ルーターの扱いにも慣れてきました。

先生に手伝っていただきながら、作業を進めます。

コパテープをていねいに圧着していきます。

下準備が完成しました。次回、いよいよ接合作業です。